

ICT活用による生産安定

■背景とねらい

近年、きゅうりを基幹品目として新規就農する生産者が増加する一方、急激な温度変化や連続降雨など、変動が大きい栽培環境の中、病害虫の発見や生理障害の判断が遅れ、収量や品質の低下につながるケースが増加している。

このため、生産上問題となる病害虫や生理障害を現場で正確かつ迅速に判断し、的確な防除等につなげる支援ツールとして「電子図鑑」の作成を開始した。

■本年度の取組

1 「電子図鑑」の内容

電子図鑑は、生産者がほ場で確認ができるよう、スマートフォン等のモバイル機器に保存して持ち歩くことを想定し、病害虫等の特徴や防除対策、発症ステージごとの画像を一つのファイルとして編集したものである。

掲載病害虫は、病害10種、害虫10種を予定し、重点活動の最終年度である令和5年度まで、病害虫の追加や画像の追加・更新を重ね、令和4年度から生理障害も加え完成版としていく予定である。

2 掲載予定病害虫

病 害	害 虫
ホモプシス根腐病	アブラムシ類
べと病	ハダニ類
褐斑病	コナジラミ類
炭疽病	アザミウマ類
つる枯病	ウリノメイガ
うどんこ病	ハモグリバエ類
斑点細菌病	ネコブセンチュウ類
モザイク病	ウリハムシ
(つる割病)	(タネバエ)
(黒星病)	(カメムシ類)

※ () 内は令和4年度以降に掲載

3 掲載画像の収集

重点指導対象者の巡回時や、要請活動におけるきゅうり農家巡回時に写真撮影を行うとともに、県関係機関から既存画像の提供を受けながら、画像収集を行った。

4 暫定・令和3年度版の作成

令和3年度に収集した画像を編集し、病害虫の特徴や防除のポイントを掲載し、暫定版として病害8種、虫害8種を掲載した電子図鑑を作成した。

■本年度の成果

1 暫定・令和3年度版の公表

電子図鑑は、南信州農業農村支援センター内のホームページからダウンロードする方法とし、令和4年2月22日に提供を開始した。

2 生産者、JA等関係者からの意見聴取

令和3年11月26日に開催した南信州きゅうり新規栽培者情報交換会において、掲載病害虫の種類や内容など電子図鑑の説明を行い、意見聴取を行った。

3 生産者への周知

ホームページのアドレス(QRコード)を掲載したチラシを、重点対象者7名をはじめとした新規栽培者に配布するとともに、JA等出荷団体に依頼してきゅうり生産者に広く周知し、活用促進を図った。

■今後の課題と対応

実際の活用は令和4年産からとなるため、利用した生産者からの意見や要望を聴取し、引き続き掲載する病害虫や生理障害の画像収集を行いながら、電子図鑑の拡充を行い、令和5年度の完成に向けて整備を進めていく。

また、現地で実際の病害虫を見ながら電子図鑑を活用する研修会を複数回開催し、図鑑の利用者を増やし、きゅうりの生産安定につなげていく。

(地域第三係：安藤 忠幸)